なんさい

5月号

NO. 252

2017 MAY

特集 ①担い手皆様との意見交換会
②中期3か年計画進捗状況について

JA南彩 | 検索

URL:http://www.ja-nansai.or.jp

ホームページで広報誌「なんさい」が見られるようになりました。

地域を結ぶ
ふれあい
ネットワーク

JA南彩

耕そう、大地と地域のみらい。JAグループ

もくじ CONTENTS

表紙の紹介	❷
カメラニュース	❸❹❺
特集① 担い手皆様との意見交換会	❻❼
特集② 中期3か年計画進捗状況について	❽❾
みんなの広場	❿⓫
営農情報	⓬⓭
定期人事異動	⓮⓯
新採用職員紹介	⓰
生活情報	⓱
お知らせ	⓲⓳⓴

クールビズ運動

ＪＡ南彩では、昨年の夏と同様に、需要ピーク時の節電に向けた取組みと地球温暖化対策等としてクールビズを実施します。軽装にて対応させて頂きます。ご理解の程宜しくお願い致します。

実施期間　平成29年
5月1日㈪～10月31日㈫

2017
5
vol.252

表紙の紹介　わが家のアイドル

＜春日部市増田新田＞

関根（せきね）　静馬（しずま）くん（1歳6ヶ月）

（お父さん/和樹（かずき）さん・お母さん/裕美（ひろみ）さん）

我が家の長男　静馬。最近は色々なことを覚え、ひとりでご飯を食べられるようになりました。野菜も大好きでたくさん食べます。静馬という名前は、物事を冷静にとらえ、お馬さんのように優しくて力強く成長してほしいという願いをこめて名付けました。日々の成長が楽しみです。（文・和樹さん）

（穀山通信員）

食　堂

お客様には大変ご不便をお掛け致しますが、
平成29年5月15日㈪～5月22日㈪は
修繕工事のため、臨時休業いたします。
5月23日㈫より
リニューアルオープン
となります。
従業員一同、皆様のご来店を
心よりお待ち申し上げます。

直売所情報

イベント情報

菖蒲グリーンセンター さつき展開催

5月28日㈰から6月4日㈰まで

新鮮野菜、花等取りそろえて、お待ちしております。

各直売所　毎週水曜日
ポイント5倍デー

カメラニュース

農村地域文化賞受賞

春日部市銚子口の「銚子口獅子舞」が第29回農村地域文化賞（優秀賞）を受賞しました。農村地域文化賞は地域社会に顕著な貢献をしたと認められる団体・グループを対象に、埼玉県農協福祉事業団より贈られます。「銚子口獅子舞」は元禄10年から行われており、毎年、年3回奉納されています。昭和61年には春日部市無形民俗文化財に指定されています。

「銚子口獅子舞」（駒崎長治代表）保存会の遠藤茂会長は受賞を受けて「今年で伝承320年を迎え、これまで一度も休むことなく行っており、地域の誇りにしている。受賞したことを支えに、今後も絶やすことなく続けていきたい」と話していました。

4月13日、JA南彩森田組合長が代理となり、賞状と副賞を授与しました。

岩槻農産物共販センターで花初出荷

4月8日、岩槻農産物共販センターで花（鉢物）の出荷が始まりました。3月15日に新農産物集出荷場「岩槻農産物共販センター」が稼働を開始し、小松菜や山東な等の葉物やトマトを出荷してきましたが、花の出荷はこの日が初となりました。

出荷に訪れた濱野力さんは「近年、働き手が足りず市場まで自分で運んでいたため、時間もかかり生産が疎かになるのではと心配していたが、農産物共販センターが稼働し、近場に出荷できるようになって良かった。生産、品質向上に力を入れられる」と話しました。

この日、コレオプシス（キク科）を大阪の花卉市場へ出荷しました。

平成29年度 JA南彩進発式

新年度を迎え、渉外担当者、営農渉外担当者、販売促進員が気持ちを新たに決意表明しました。今年度もお客様の期待に応えられるよう精一杯取り組んでいくことを誓い、式の最後には「ガンバロー」コールで団結しました。

TAC進発式・なんさい小町委嘱式

渉外担当者進発式

TAC進発式・なんさい小町委嘱式

カメラニュース

新規ナシ栽培講習会　閉講式

3月23日、平成28年度新規ナシ栽培講習会の閉講式を行いました。JA南彩管内の梨農家後継者17名の講習生が営農部水戸部満技術参与指導のもと、1年間の講習日程をすべて終了しました。

閉講式では、森田組合長から皆勤賞の2名に賞状を授与したあと、水戸部参与から1年間を振り返り大切なポイントなどについて説明がありました。参加者は「座学と実践で学べて、とても分かり易かった。学んだことを忘れず、梨づくりを頑張りたい」と話していました。

梨産地の活性化と産地維持のため、平成29年度も引き続き梨技術習得の支援を行ってまいります。

手づくりの会　総会および解散式

3月24日、久喜市菖蒲町内で手づくりの会平成28年度総会と解散式を行いました。同会は、地域内で生産された農産物の手作り加工を行い、直売を通じて消費者との交流を深め、農業経営の向上と地域の活性化に資するために平成2年に設立されました。しかし、当初20人在籍していた会員は現在6名に減少、高齢化ということもあり解散の運びとなりました。同会豊田八重子会長は「歴史ある会の解散はさびしいですが、みそづくりの伝統は絶やさぬようしっかり引き継ぎたい」と話しました。

会は解散しましたが、皆様にご指導いただき、人気の菖蒲みそを継続して販売する予定です。

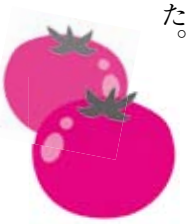
ヨーロッパ野菜　テレビで紹介

4月10日、テレビ埼玉の情報番組「マチコミ」のおいしさまるごとマイスターのコーナーで埼玉県産ヨーロッパ野菜のPRを行いました。さいたまヨーロッパ野菜研究会の生産者である小澤祥記（よしのり）さんと関根一雄さんが出演し、司会のAKB48の松井咲子さんなどにバーニャカウダーの試食をしていただきました。小澤さんは「今後、埼玉と言えばヨーロッパ野菜と言ってもらえるよう栽培に力をいれていく」と話していました。

右から2人目　小澤さん　手前右　関根さん

白岡トマト組合　市場督励

4月6日、白岡トマト組合は主力市場である埼玉県中央青果、大宮中央青果へ訪問しました。生産者7名と春日部農林振興センター職員、JA南彩から営農経済担当菊池常務、JA職員の合計13名が参加しました。同組合の大高馨組合長は各市場へ、産地の状況をふまえ農家が農産物を再生産できる価格の実現と生産者の所得増大に向けて、販売先や消費者へPRしていただきたいと強く要望しました。



女性部活動報告

3月29日　春日部支部　幸松地区

幸松地区公民館で料理講習会を開き、12名が参加しました。生地を発酵させない手軽なピザを作りました。とても簡単に美味しくでき、参加者は大変満足していました。

4月1日　宮代支部

毎年恒例の宮代町主催「桜市」に出店し、部員6名が参加しました。小雨の降る天候の中、赤飯や地場野菜を使った豚汁、あられを販売しました。購入されたお客様には美味しいと好評でした。

なんさい小町活動報告

4月17日　太田市場トップセールス

東京都中央卸売市場で埼玉県農産物のトップセールスを行いました。

埼玉県上田清司知事、JA埼玉県中央会若林龍司会長をはじめ、県内主力出荷JAの組合長、販売促進員らが参加し、市場関係者へ青果物の配布やPRを行いました。

平成29年度　営農渉外（ＴＡＣ）のご紹介

中込敏弘
TACアドバイザー
080-6583-3124

☆小松康二
南部（岩槻・春日部）
090-3808-6281

山口修平
南部（岩槻・春日部）
080-6583-3135

渡邉祐貴
南部（岩槻・春日部）
080-6583-3139

☆板羽隆太
中部(蓮田･宮代･白岡)
080-6583-3127

小豆澤広幸
中部(蓮田･宮代･白岡)
080-6583-3151

☆柴崎　稔
北部（久喜・菖蒲）
080-6583-3099

北川明彦
北部（久喜・菖蒲）
080-6583-3136

斉藤　惇
北部（久喜・菖蒲）
090-3808-6337

☆はエリアリーダー

お気軽にご相談ください。

担い手皆様との意見交換会

ＪＡ南彩では、ＪＡ自己改革に関して担い手をはじめとした農業者と力を合わせ、農業所得向上と生産拡大に向けた活動をするために2月17日から23日にかけ、6会場で担い手53名の参加を頂き、意見交換会を開催しました。当日は、埼玉県担い手サポートセンター担当者と地区選出役員も参加し、有意義な意見交換を行うことができました。今後も意見交換会を継続して開催し、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」を目指し、農業者皆様からの意思を積極的に反映することにより、ＪＡ改革を着実に実践するよう取組んでまいります。

以下、それぞれの会場での意見交換に対する一部内容を要約したものです。

意見に対する回答（順不同）

Q 生産者の高齢化に伴い、今後農業への取組みについてはどう考えているか。

A 実需者ニーズに基づく生産と販売提案を行い、首都圏という立地を活かし、農業生産の拡大をはかってまいります。

Q 他ＪＡでは、青年部枠での理事登用があると聞いているが、当ＪＡでも是非お願いしたい。

A 前向きに検討してまいります。

Q 平成30年度以降、米の生産数量目標の配分が無くなるとのことだが、今後の飼料用米の取組みは。

A 飼料用米の取組みは米価の安定から不可欠であり、生産者の皆様にもご理解頂きたいと思います。多収性品種の取組み等、省力化や低コスト化をはかりながら関係機関と連携して対応してまいります。

Q 生産が盛んな「梨」以外でも「ぶどう」の生産に取組んでいる生産者がいる。技術、情報提供等、ＪＡも積極的に関わって欲しい。

A 勉強会、生産者同士の交流の場づくりや品評会等を行い、生産普及や技術支援につとめます。

Q 昨年4月からＴＡＣが本店に集約されたが不便ではないか。ＴＡＣの配置や体制を変えていく必要があるのではないか。

A 営農渉外を導入して10年が経過しました。これまでの経過を踏まえ、9名のＴＡＣが情報を共有できるよう、また、組合員の要望に沿えるような環境整備をはかりました。今後も一部体制を見直しながら組合員皆様のご期待に応えられるようつとめてまいります。

Q 直売所の手数料はどのように使われているか。

A 出荷者の利便性と所得向上に向けた取組みとして平成25年に産直システムを導入した際に手数料率を13％から15％へ引き上げさせて頂きました。システム導入の償却費や直売所運営経費などに充当させて頂いております。ポイントカード会員には、出荷された青果物の販売金額に対してポイントが付与されますので、手数料の一部を還元しております。

Q 農業所得増大に向けた県域応援企画事業の中で、農地拡大促進奨励はどのように行っているか。申請すれば助成してくれるのか。

A 農林公社が中心となって行っており、農地拡大にあたり畦畔ブロックの除去、測量等の費用を助成しています。しかし、国や県からの補助金だけでは賄えません。平成29年度は対象地区が決定していますので予算枠の範囲内なら可能性があると思います。農林振興センター等に確認が必要です。

Q 農業生産の規模拡大に向けて、今後労働力確保の具体策について

A ＪＡ改革における生産規模の拡大には、労働力確保が課題となります。中期3か年計画において、重点施策の無料職業紹介所を平成29年7月に開設し、労働力の斡旋に取組みます。

Q 肥料・農薬について、同じ商品でも値段が異なるときがあるのはなぜか。また、作業場所が広域のため、納品場所を近くの支店にしてもらえないか。

A 注文方法（予約・当用扱い）や自己取り・大口割引により値引きがあるので価格が違います。作業する圃場を考慮し、事前にご相談頂き便宜をはかりたいと思います。

Q 農業経営管理支援システムは、経理も行ってもらえるのか。

A 支援システムは、組合員そして情報センター等が連携し、運用しております。システムのソフト導入は、今後ＪＡ内部で検討したいと考えます。

Q 購買代金の請求明細書について、農業生産資材と日用品を分けて記載ができないか。

A 科目ごとに記載が可能ですのでご相談頂ければと思います。

Q 「うまい米づくりコンテスト」について、出品した結果をフィードバックし、指導をお願いしたい。また、食味値は食味につながるのか。

A コンテストの結果は、各出品者に送付させて頂きます。食味計の数値結果を活用し、販売面や営農面（例えば次年産の施肥設計）などに活用して頂きたいと思います。

Q 特別栽培米は収量が少ない。もう少し価格に反映してほしい。

A 特別栽培米はＪＡが買取して直売所を中心に販売しています。今後も直接販売のメリットを価格に反映できるようつとめてまいります。

Q 水稲肥料等の配達が早すぎるので生産者の希望に合わせてほしい。

A 本年産の予約注文書には各地区の配送予定日を記載し、配送効率化をはかりました。また、大口の配送は、事前にご連絡を頂き対応しておりますが、今後は配送委託先と検討してまいります。

Q ライスセンター等施設の稼働率はどのくらいか。また、施設を利用したいと思うが米価が不安定なので利用料金を考えてほしい。施設利用の省力などメリットをもう少しPRすべきだと思う。

A 稼働率については、白岡ライスセンター（米45％　麦47％）久喜ライスセンター（米91％）菖蒲カントリーエレベーター（米47％　麦22％）という状況です。利用料金は、大口生産者対策を含め一部見直しを検討し、生産農家の省力、農作業受託等を考慮しつつ、多くの組合員に施設を利用して頂きたいと考えております。

Q 直売所出荷者の年会費・入会費の見直しと併せて、売れ残りの農産物で加工品等開発できないものか。例えば米粉パンなどに取組んで消費拡大につなげてほしい。

A 年会費については、出荷者の皆様による協議会等の事業運営のための会費となっております。直売所出荷者も高齢化しておりますので、出荷者会員を増やす努力と集荷対応や加工品等の取組みで活性化させるための方策を講じながら売上げ増につとめることが組合員の所得向上につながると思います。直売所が地域の拠り所として地域活性化に貢献できればと思います。

Q 耕作放棄地が年々増加しているが、草刈りを行政やJAで行ってほしい。

A 現在、水稲に係る農作業受託があります。草刈り等、農地管理まで支援できるような組織づくりの検討を行ってまいります。

Q 遊休農地を活用し、業務加工ニーズの高い農産物の産地化について

A 農業生産の拡大を促進するために、遊休農地の解消に向け、担い手農家に対し加工用・業務用野菜の取組みや直売所向けの新規作物等を提案して農業所得アップにつなげてまいります。

Q 梨産地として、生産振興から販売に至るまで、今後どのように考えているか。

A 梨については、年々生産者の高齢化による廃園で栽培面積が減少しており、各地域の撰果施設の運営が厳しくなっております。一方では、若手農業者の梨栽培への取組みもみられます。「新規ナシ栽培塾」をはじめとした梨栽培技術習得支援を今後も継続して実施し、また、関係機関並びに生産者と連携しながら今後の産地維持と生産振興につとめてまいります。

Q 年々拡大している鳥獣被害の取組みについて。

A JAグループさいたまの県域応援企画において、広域化しつつある鳥獣被害の削減・防止を目的とした防護柵設置に対する助成事業を活用し、農業者の経営安定と生産意欲向上のため、JAでも電気柵を取扱いさせて頂きます。

Q 埼玉県の梨「彩玉」をもっとPRしてほしい。

A 県産ブランド梨として広告媒体などを活用し、さらに販促強化をはかり、生産手取りアップにつながるようPRにつとめてまいります。

Q 営農集団の構成員の高齢化が進んでおります。情報提供して頂く資料については、横文字を使用せず農家にわかり易い資料を作成してほしい。

A 営農集団の後継者育成は今後の課題でもあります。Uターン就農への誘導や共同作業など環境づくりの展開が必要であります。情報提供等の資料は農家の目線で対応してまいります。

Q GAPを取得することで有利販売ができるのか。

A 東京五輪の食材供給の件で論議されております。埼玉県においては、農業生産工程（GAP）のガイドラインに準拠したS-GAPが平成26年度に策定され普及推進しております。これらは生産者にとって取組みやすさを重視したもので食の安全・安心や農業経営の改善効率化に資することになります。

Q 生産経費は肥料・農薬だけではない。農業機械等も含めトータルでコストを下げてもらいたい。JAで肥料の注文書を配付する前に、一般の業者からDMが各農家に届いている。同じようなものであれば、安いものを買ってしまう。

A 昨年より肥料や段ボール等の一部資材で値下げを実施しました。今後も市況価格調査をはじめ、肥料銘柄の集約、予約共同購入の強化、また仕入対策強化等によりトータルコスト引下げの方策を講じてまいります。

Q 軽油の免税措置について、JAを利用している農家に代わって、JAに申請手続きをお願いできないか。

A 営農用の軽油については、免税証を提示することで軽油引取税が免除されます。免税証を申請受領するには、使用者本人が申請書類作成し、使用者本人が申請することとなっており、また使用後も提出書類が義務化されております。なお申請に対する手続き等についてのお問い合わせには、対応させて頂きます。

この他にも多数のご意見をいただきました。
貴重なご意見、ありがとうございました。

『創造的自己改革への挑戦』

JA南彩中期3か年計画　平成28年度末での進捗状況について

JA南彩では、『創造的自己改革への挑戦』をテーマとした『農業者の所得増大』、『農業生産の拡大』、『地域の活性化』の実現に向けて多様化する地域と農業の実態をふまえ、創意工夫ある取組みを通して、特色あるJAづくりを進めています。

初年度が経過し、現在の進捗状況をご報告いたします。

1．「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への挑戦	JA南彩は、「農業所得の増大」「農業生産の拡大」の実現に向け、担い手経営体のニーズに応える個別対応やマーケットインに基づく生産・販売方式の転換を進めます。

重点施策（目標）	担当部署	平成28年度目標	平成28年度末での進捗状況
① 担い手経営体への個別対応 （全戸定期訪問）	営農部	・担い手経営体の明確化 ・TAC体制整備	・平成28年4月よりTACを本店営農部営農支援課に集約し、情報を共有しながらTAC活動を実施 ・TACにより、担い手大規模農家・認定農業者等の訪問先を明確にして、担い手サポートセンターと連携し継続訪問活動を実施
② 担い手経営体への労働力確保対策 （無料職業紹介事業）	営農部	無料職業紹介所事業検討及び紹介所開設	・他JAの取組み状況の調査及び紹介所開設までの申請手続き確認 ・職業紹介責任者講習会受講（平成28年8月30日） ・平成29年2月無料職業紹介所設立を理事会決定 ・平成29年7月無料職業紹介事業承認及び開設予定
③ マーケットインに基づく販売事業方式への転換 （米買取販売250ｔ） （飼料用米作付拡大430ｈａ）	営農部	・新規作物提案 ・買取販売数量拡大 ・飼料用米生産拡大	・南瓜（ほっとけ栗たん）、青パパイア栽培講習会を開催し、提案実施 ・特別栽培米彩のかがやき生産者の会会員への講習会開催（参加者30名） ・直売所及び職員精米推進による販売数量拡大（米買取販売170ｔ） ・経営所得安定対策制度への加入促進と水田フル活用による飼料用米取組拡大（作付339ｈａ）
④ 消費者との信頼を築く食の安全確保対策の実践 （S-GAP取組者100名）	営農部	S-GAP説明会の開催	・S-GAP説明会を特別栽培米彩のかがやき生産者の会で開催（会員数52名）、今後小松菜・山東な共販組合にて開催予定
⑤ 地域と担い手のニーズに応じた農地利用集積・集約化の取組 （10地区）	営農部	地域営農ビジョン策定	・モデル地区（岩槻地区、春日部地区：武里、蓮田地区：黒浜）として、いずれかの地区で検討中
⑥ ア．取引条件に応じた弾力的な価格設定 （肥料50品目・農薬30品目、DB等）	経済部	・予約価格、大口、自己取り奨励実施 ・DBデザインと規格の統一化	・肥料52品目、農薬17品目の大口値引きに加え、肥料では自己取奨励値引きも実施 ・南彩みのり444号、水稲箱施用剤、茎葉除草剤等の特別値引きキャンペーンを実施 ・ＤＢの仕入強化により、11月から価格の引き下げ実施
イ．PKセーブ肥料やPB肥料等の銘柄集約によるコスト引下げ	経済部	集約率向上方策策定・実践	・低コスト肥料として、堆肥等の未利用資源を活用した次世代型肥料の提案 ・土壌診断に基づく（水稲2品目、梨9品目、苺1品目）ＰＢ肥料の取扱による集約化 ・銘柄集約によりスケールメリットの検討
⑦ 直売所間のネットワークの構築	経済部	ネットワーク販売の策定・実践	・生産者が当組合管内のどこのＪＡ直売所でも出荷・精算できるシステムを構築。品目の選定及び物流方法等の運用を検討中 ・一部品目（小松菜、トマトなど）を直売所間で販売実施

2．「地域の活性化」への貢献	JA南彩は「くらしの活動」として、組合員や地域住民の様々なくらしのニーズに対応し、住みなれた地域での助け合いを軸とした地域セーフティネット機能をJA総合事業の中で展開します。

重点施策（目標）	担当部署	平成28年度目標	平成28年度末での進捗状況
① 組合員ふれあい活動の展開（全支店実施）	企画管理部	組合員ふれあい活動の実施	全管内で実施。一部、単独で実施した支店もあり（11支店） 全体で36のふれあい活動の取組み。内訳：岩槻管内4、春日部管内4、蓮田管内9、宮代管内2、白岡管内3、久喜管内3、菖蒲管内11
② 認知症施策に対するJAの支援体制の構築（全地区実施）	営農部	認知症サポーター養成	・女性部各支部役員及び本部役員を対象に認知症サポーター養成講座を開催
③ 広報機能の強化	企画管理部	・体制整備 ・広報戦略の策定 ・ホームページの見直し	・平成28年度から、広報担当部署を営農部から企画管理部に変更 ・准組合員向けの広報誌「にじいろ」について、内容の見直しを実施。平成29年度の発行に向けて、よりJA南彩をPRできるような広報誌作りの取組み ・ホームページは10月上旬にリニューアルを実施

3．JAの事業伸長を支える信用事業と共済事業の取組み強化	農業者の所得増大、准組合員のJA利用を通じた信用事業の深耕・拡大。「JAバンク基本方針」のもと、農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供、地域貢献に向けて取組みます。

重点施策（目標）	担当部署	平成28年度目標	平成28年度末での進捗状況
① ア．農業メインバンク機能強化	金融部	利子補給、保証料助成事業を活用した農業資金の提案	・JAバンクからの利子補給や保証料助成の優位性を活用し農業資金融資伸張の取組み
イ．生活メインバンク機能強化	金融部	事業推進部 ・個人貯金の増強 ・年金受給口座の拡大	・重層管理の徹底をはかり、役員による大口利用者への訪問を実施 ・各種キャンペーンによる個人貯金の獲得強化及び年金定期貯金「結いの恵み」を活用し、年金受給口座獲得への取組み ・住宅ローンWEB事前審査開始（11/1 ～）
② 事務効率化・堅確性向上	金融部	金融課 ・OTM全面導入 ・メールオーダーサービス開始	・全店舗にOTMを導入 ・オープン出納機を4統括支店に導入（岩槻、春日部、久喜、菖蒲） ・メールオーダーサービスを取扱い ・ATMの機能拡充による利用者サービスの向上
③ 事務レベル向上等	監査室/金融部	臨店指導の実施による事務レベル向上	・事務管理態勢充実強化のため臨店指導や各種研修会を実施
④ 担当世帯の全戸への保障点検訪問活動（3Q訪問活動）の完全実施	事業推進部/共済部	保障点検訪問活動世帯率40％以上	全職員による3Q訪問を取組み、3Q訪問活動世帯率は45.3％
⑤ 「ひと・いえ・くるま」の総合保障の取組強化	事業推進部/共済部	世代単位でのきめ細やかな総合保障の提供 保障点検実施率（あんしんチェック）40％以上	3Q訪問で収集した情報を基に、あんしんチェックを実施し、保障点検実施率は45.1％
⑥ 地域特性を踏まえた保障提供の強化	事業推進部/共済部	支店の地域特性に応じた実行計画の策定・実践	地域特性を踏まえ、各支店の強み・弱みを把握し、地域特性に合わせた推進計画の実施

農を支える

染谷（そめや）　晃司（こうじ）さん（蓮田市閏戸）

３代やってきた切り花（花木）農家を続けていきたいとの思いで就農した染谷さん。埼玉県立農業大学校で農業経営を学び卒業後、就農し４年目となります。染谷さんが栽培する切り花（花木）は、華道や生け花、フラワーデザインなどに使用する花材でボケ・ツツジ等四季折々のものを栽培し、年間を通して都内の市場に出荷しています。栽培については、有機物肥料を使用したり、連作障害を防ぐため、ローテーション栽培を行っている他、出荷の荷作り作業は特に気をつけているそうです。また、市場に多く足を運び需要動向や他の生産者の品物を見ることがとても重要だと話します。今後は「まだまだ勉強中ですが栽培技術面や販売手法を磨き、将来を見据えたオリジナルの品物を選定して取り組んでいきたい」と笑顔で話してくれました。

（宮野通信員）

の広場

～生産部会紹介～

白岡トマト組合は大高馨組合長（写真前列中央）をはじめ、７名で構成され活動をしています。同組合は昭和45年から発足されています。出荷時期は２月から７月上旬で「白岡の太陽」の愛称で親しまれている白岡産のトマトは県内市場を通じてスーパーマーケットや青果店にて販売されるほか、ＪＡ南彩白岡直売所やしらおか味彩センターの店頭にも多く並びますので、是非ご賞味下さい。

スマイル女性

岩本（いわもと）　きよ江（え）さん（宮代町字中）
JA南彩女性部　宮代支部（写真左）

岩本さんは女性部設立時より宮代支部に加入し、主に、料理教室や体操教室、研修旅行など積極的に参加しています。イベントでは、4月の宮代町主催「桜市」や年末の「JA南彩ふれあい感謝祭」に女性部として出店し、赤飯など販売しています。

きよ江さんの趣味は読書と旅行。読書は小説が中心ですが、時代劇ものは月に10冊も読んでしまうそうです。旅行は日帰り旅行が中心で、ドライブを兼ねて栃木県に出かけることも多いそうです。

「宮代支部は少ない部員のため、イベントなどでは協力しながら楽しく活動を行い、部員同士の交流も深められます。最近、息子家族が帰ってきたので孫達とふれあう機会も増え、楽しく賑やかで充実した日々を送っています」と、とても嬉しそうにお話ししてくださいました。　（相原通信員）

料理楽しくステップアップ

「キッチン晴人」オーナーシェフ
永井智一

ジャガイモの洋風卵焼き

＜POINT＞
トマトとタマネギのみじん切りを付け合わせると一味違います！

＜材料（４人分）＞

- 卵……3個
- ジャガイモ（厚さ5～8mmにスライス）……２個
- タマネギ（スライス）…¼個
- ベーコン（4等分）……3枚
- マヨネーズ…… 大さじ1
- 粒マスタード …… 適宜
- オリーブ油……大さじ3
- 塩 …… 適宜

＜作り方＞

① 直径18cmのフライパンにオリーブ油大さじ２をひき、ジャガイモ、タマネギ、ベーコンを入れ、弱火にかける。7～8分炒め煮にして火を通す。
② 溶きほぐした卵と①をボウルに入れて混ぜ合わせ、塩で味を調える。
③ フライパンにオリーブ油大さじ１を熱し、②を流し入れて底面を焼き固め、焼き色がついたら表裏を返す。フライパンより一回り小さいふたなどで上からぎゅっと押しながら底面を焼き固める。
④ ③を８等分に切り分け、マヨネーズとマスタードのソースを添える。

お問い合わせ
●JA南彩営農部
0480（87）1135
または
最寄りの営農経済センターへ

水稲の田植時防除と本田初期の管理

水稲栽培は５月に入り本格的な田植え時期となりました。この時期の管理は、今後の生育に重要となりますので、箱施用薬剤での縞葉枯病防除対策、田植後の適切な管理に努めてください。

1　イネ縞葉枯病防除に箱粒剤施用が手軽で効果的

⑴　イネ縞葉枯病の発生源となるヒメトビウンカ防除対策として、アドマイヤーＣＲ箱粒剤、フェルテラチェス箱粒剤またはルーチンアドスピノ箱粒剤の使用をお勧めします。

⑵　箱粒剤によっては、フタオビコヤガ（イネアオムシ）、いもち病などにも適用がありますので、これまでの栽培状況に応じて選びましょう。

「農薬を使用する際には、必ず使用農薬のラベルを確認しましょう！」

2　田植え後の管理で健全に育てましょう

５月の天候は、数日の周期で変わりやすく苗の活着や初期の生育に大きく影響を与えます。

水稲の田植後は、①活着を良好にし、初期生育の促進と早期の有効茎数確保、②水田雑草の防除、③根の生育を健全に維持することが大切です。そのためには、特に水管理がポイントになります。

⑴　田面水を浅水に保つ

田植え後は深水にし、⑵の除草剤処理期間の後、ただちに２～３㎝程度（一部の土が僅かに見える程度）の浅水にして水温・地温を上げ初期生育、分げつを促進させましょう。特別に低温時や強風時のみ、保温のために深水管理します。

⑵　除草剤散布後７日間は田面水を安定に保つ

水田の除草剤は、散布後24時間程度で田面表層に雑草の出芽を抑制する処理層が完成し３～４日で安定しますが、散布後7日間は、①漏水させない、②かけ流ししない、③田面を露出させない。以上の点に気をつけましょう。また、河川への流出にも十分留意しましょう。

減水した場合は処理層を壊さないように水口からゆっくりと入水します。

⑶　根を健全に保つ

気温が上昇する５月下旬から６月ごろ、下葉の黄化など水稲の生育に停滞が見られる水田では、すき込んで未熟な稲わらなどの腐熟が促進され、硫化水素を含んだ有害ガスの発生による根腐れが考えられます。（稲わらのすき込みは、秋できるだけ早く、10月中に行いましょう）

水田に足を踏み入れ、気泡が多く発生する場合には「夜間落水（夜干し）」や「水の入れ換え」によるガス抜きにより土中に酸素を供給し、根の健全化を図りましょう。

なお、中干しは、田植え時期やその後の気象状況にもよりますが、田植え後30～40日が目安になります。

《春の農作業安全》今日も一日、農作業の始まりは安全、無事の心がけから。

平成29年度、ＪＡ南彩管内を担当されるさいたま農林振興センター農業支援部、春日部農林振興センター農業支援部の技術普及担当の普及指導員の方々です。

さいたま農林振興センター農業支援部

電 話：048−822−1007
FAX：048−834−5366

所　長
大図　早孝
農業支援部長
新井　良彦

技術普及担当（南部地域）			
職　名	氏　　名	市町窓口	分担する技術項目
担当部長	篠崎　誠	―	花植木
担当部長	入江　尚彦	―	果樹、野菜
担当課長	箕田　豊尚	さいたま市	作物、野菜
主　任	東屋　希	さいたま市	野菜、花植木
主任専門員	田中　克典	―	野菜、作物
技　師	長谷川明日香	―	―
技　師	穂積　由乃	さいたま市	野菜、作物

春日部農林振興センター農業支援部

電 話：048−737−6311
FAX：048−737−6313

所　長
根岸喜代志
副所長
田村　真実
農業支援部長
小野田　実

技術普及担当（西部地域）			
職　名	氏　　名	市町窓口	分担する技術項目
担当部長	森田　晃	蓮田市	果樹、作物
担当課長	村田　紀子	久喜市	果樹、野菜
主　任	平野奈美江	久喜市	野菜、作物
主　任	髙橋久美子	久喜市	花植木、野菜、作物
技　師	中山　亮	白岡市	野菜、作物、畜産
技　師	染谷　美奈	久喜市	果樹、作物

技術普及担当（中部地域）			
職　名	氏　　名	市町窓口	分担する技術項目
担当部長	大関　勉	―	作物、果樹
担当課長	春日　敦子	春日部市	作物、野菜
主　任	山口　有子	―	野菜、花植木
技　師	石井　裕也	宮代町	野菜、作物
専門員	宮田　和夫	―	作物、野菜

定期人事異動

4月1日付で定期人事異動を行いました。

氏名	所属役職
【部長職】	
須鎌　良久	監査室長
小林　守	監査室付室長
三角　英夫	企画管理部長
井上　薫	企画管理部付部長
本田　悟	金融部長
関根　清	共済部長
遊馬　光明	事業推進部長
松岡　昌典	営農部長
福岡　和明	経済部長
浅見　正浩	岩槻城南支店長
内田　正枝	宮代支店長
森田　勝	菖蒲支店長
【次長・課長職】	
斎藤　輝行	企画管理部次長兼総務課長
藤井　充彦	金融部次長兼金融課長
松岡　一夫	共済部次長兼査定センター長
坂巻　隆弘	久喜江面支店統括副支店長（業務マネージャー）
小島　秀樹	企画管理部総合企画課長兼審査課長

氏名	所属役職
青木　淳一	金融部資金運用課長
太田　和也	金融部融資課長
田村　佳史	金融部融資課ローンセンター長（課長職）
大島美津枝	共済部共済課長
大塚　大空	経済部経済課長
中村　満	経済部直販事業課長
河野　靖雄	豊野支店長
鈴木　努	蓮田支店統括副支店長（業務マネージャー）
相原　浩	宮代支店統括副支店長（業務マネージャー）
大久保　学	白岡・宮代営農経済センター長
関根由貴仁	太田支店長
町田　健司	清久支店長
林　兼司	栢間支店長
新井　和則	寺田支店長
【副課長職】	
長谷山龍一	企画管理部人事課副課長
大熊　隆文	金融部金融課副課長
南雲　直哉	金融部融資課副課長
鈴木　弘倫	事業推進部副課長

氏名	所属役職
中込　敏弘	営農部営農支援課副課長（営農渉外）
石川　和典	経済部経済課副課長（葬祭担当）
疋野　将人	岩槻城南支店副支店長（渉外）
関根　克己	岩槻営農経済センター副センター長
桑野　拡	春日部支店副支店長（業務マネージャー）
宮野　之寛	蓮田支店副支店長（推進マネージャー）
金子　幸恵	宮代支店副支店長（金融共済）
三角　俊之	宮代支店副支店長（推進マネージャー）
近藤　徹	宮代支店副支店長（経済）
野田　良	白岡大山支店副支店長（推進マネージャー）
島田　尊	白岡・宮代営農経済センター副センター長
沼田　耕平	久喜江面支店副支店長（渉外）
石井　郁男	久喜江面支店副支店長（推進マネージャー）
浪江　将	菖蒲支店副支店長（業務マネージャー）
田村　直美	小林支店副支店長（金融共済）
【係長職】	
鈴木　源一	監査室係長
中村　裕子	企画管理部審査課係長
新井　義典	企画管理部総務課係長
宮寺　亮	金融部資金運用課係長
小松　康二	営農部営農支援課係長（営農渉外）
髙橋　健二	経済部直販事業課係長（岩槻直売所担当）

氏名	所属役職
吉澤　純子	岩槻城南支店係長（金融共済）
森田　忍	新和支店係長（金融共済）
赤沼　雄一	川通支店係長（金融共済）
関根　彬史	川通支店係長（渉外）
板谷　徹	春日部支店係長（推進マネージャー）
榎本　修一	春日部支店係長（渉外）
若林　直樹	春日部支店係長（渉外）
石川　有里	幸松支店係長（金融共済）
菊地　智美	豊野支店係長（金融共済）
青木安芸代	蓮田支店係長（金融共済）
鈴木　克明	黒浜支店係長（渉外）
小林　邦彦	平野支店係長（渉外）
坂本芙志子	宮代支店係長（金融共済）
田賀　育代	白岡大山支店係長（金融共済）
鈴木　宏昌	白岡・宮代営農経済センター係長
三角由実子	久喜江面支店係長（金融共済）
湯井由喜枝	清久支店係長（金融共済）
小林　洋子	清久支店係長（金融共済）
中野　和之	清久支店係長（渉外）
千葉　崇司	菖蒲支店係長（推進マネージャー）
山岸　知寛	三箇支店係長（渉外）

【主任職】

氏名	所属役職
尾形　智之	監査室主任
鈴木　俊和	企画管理部総合企画課主任
柴崎　稔	営農部営農支援課主任（営農渉外）
北川　明彦	営農部営農支援課主任（営農渉外）
板羽　隆太	営農部営農支援課主任（営農渉外）
斉藤　惇	営農部営農支援課主任（営農渉外）
山口　修平	営農部営農支援課主任（営農渉外）
小豆澤広幸	営農部営農支援課主任（営農渉外）
勝田　真紀	岩槻城南支店主任（渉外）
中村　優	新和支店主任（渉外）
山崎　崇幸	慈恩寺支店主任（渉外）
小島　章弘	河合支店主任（渉外）
井上　健作	春日部営農経済センター主任
岩崎　浩之	春日部営農経済センター主任
南雲　寛子	春日部支店主任（金融共済）
高橋　奨	春日部支店主任（渉外）
平井裕起子	春日部支店主任（渉外）
杉崎　勇夫	春日部支店主任（渉外）
中里　健一	春日部支店主任（渉外）
倉田　泰弘	豊野支店主任（渉外）
島村　徹也	蓮田営農経済センター主任
鈴木佑起子	黒浜支店主任（金融共済）

氏名	所属役職
森田　陽子	黒浜支店主任（金融共済）
髙塚　亮介	白岡大山支店主任（渉外）
中西　孝文	白岡・宮代営農経済センター主任
野口祐美子	日勝支店主任（金融共済）
金子　哲也	日勝支店主任（渉外）
相澤　優樹	久喜営農経済センター主任
中尾　陽砂	太田支店主任（金融共済）
飯塚久美子	菖蒲支店主任（金融共済）
佐藤　真吾	菖蒲支店主任（渉外）
関　裕子	三箇支店主任（金融共済）
大原　浩子	小林支店主任（金融共済経済）
柿野かなえ	小林支店主任（金融共済）
鈴木　春菜	寺田支店主任（金融共済）

【係職】

芝﨑さと子	監査室係
深井　瞳	企画管理部人事課係
山岸くるみ	企画管理部付係
安原　孝夫	企画管理部付係（埼玉県中央会出向）
秋元　和香	金融部金融課係
齊藤　智	共済部共済課係
武村　龍一	営農部生産販売課係
渡邉　祐貴	営農部営農支援課係（営農渉外）

氏名	所属役職
鈴木　康平	岩槻城南支店係（渉外）
田中　里彩	新和支店係（金融共済経済）
渋谷　幸愛	新和支店係（金融共済）
関根まりあ	川通支店係（金融共済）
榊原　翔	河合支店係（金融共済）
鈴木　健太	春日部営農経済センター係
柿野　雄輝	春日部支店係（渉外）
鈴木　大貴	春日部支店係（渉外）
山本　貴弘	春日部支店係（金融共済）
小川早知世	幸松支店係（金融共済）
塚越　歩	幸松支店係（金融共済）
関根真沙美	蓮田支店係（金融共済）
柿沼愛美里	蓮田支店係（金融共済）
小澤　順一	蓮田支店係（渉外）
小島　直人	蓮田営農経済センター係
木村　圭太	黒浜支店係（渉外）
時田　卓	黒浜支店係（金融共済経済）
柚木絵梨香	黒浜支店係（金融共済）
山本　有沙	平野支店係（金融共済）
井上　尭	宮代支店係（経済）
近藤　直人	宮代支店係（渉外）
須田佳代子	白岡大山支店係（渉外）

氏名	所属役職
松橋　里菜	白岡大山支店係（金融共済）
小山　琢也	白岡・宮代営農経済センター係
小林　央承	白岡・宮代営農経済センター係
細田　翔	久喜江面支店係（渉外）
小林　史弥	久喜営農経済センター係
榎本祐紀乃	菖蒲支店係（金融共済）
中村　琴美	三箇支店係（金融共済）
横手　大佑	栢間支店係（金融共済）
野島　孝典	寺田支店係（渉外）
【専門員】	
新井　司郎	共済部査定センター専門員
須田　健一	経済部農機センター専門員

気持ちにを新たに
活動して参ります。
これからもＪＡ南彩を
よろしくお願い致します。

平成29年度　新採用職員紹介

よろしくお願い致します。

鈴木　拓也
菖蒲支店　金融共済経済

石井　亮
岩槻城南支店　金融共済

栗原　寿将
事業推進部

新井　玲子
企画管理部総務課

中型動物（アライグマ、ハクビシン、タヌキ等）の

農作物被害防止柵（楽落くん）

「楽落くん」とは・・・

中型動物被害対策として、被害にあう時期だけ設置する電気柵です。
「登る」と「掘る」の双方に効果があるよう、動物の探査行動を逆手にとり、絶妙な高さの柵で感電するよう誘導します。
短時間で簡単に設置でき、収穫が終わった後の片付けも楽です。

●「楽落くん」セット内容●

【販売価格】

100mセット　**48,000円**（税込）

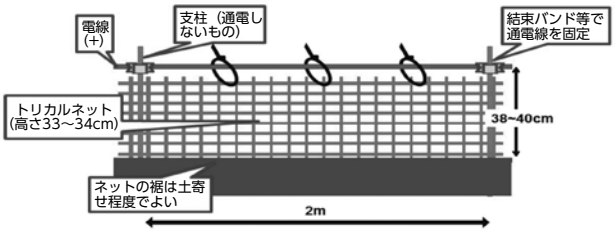
200mセット　**78,200円**（税込）

※目安として、1反あたり概ね144m必要となりますので、200mセットをご購入ください。

※上記以外は別途見積となります。

※結束バンドはセット内容に含まれませんので、自身でのご用意をお願い致します。

【設置イメージ図】



平成29年度は、電気柵に対して助成金がでます！！

1．助成対象の防護柵

電気柵・ワイヤーメッシュ柵・金網柵・ネット柵・トタン

※設置した柵により、人的被害が起きないように管理の徹底を図ること。

2．助成金の支給対象条件

助成金の支給対象となる条件は、下記の用件を全て満たすこと。

(1) 農業リスク診断を受けたこと、または受けることに同意していること。
(2) JAの組合員であること。
(3) 地域協議会の有無にかかわらず、助成申請した農業者･集落営農組織等を対象とすること。
(4) 農地が所在する市町村で補助金を支給している場合は、その申請をしていること。
(5) 埼玉県が実施する「農作物鳥獣害防止指導者研修」を受講した者の指導により設置する防護柵であること。
(6) 平成29年4月1日以降に柵を購入し、平成30年2月20日までに設置を完了すること。

3．助成額

助成額は、設置費用の50％または5万円のいずれか低い額とする。
但し、助成金の支給は1世帯につき１回とし、設置費用は国・県・市町村の補助金を除いた金額を対象とする。
予算額は、埼玉県全体で20,000千円です。無くなり次第終了となります。

お問い合わせ・ご注文は各営農経済センターまでお願いします。

相談会のご案内

JAでは相談会を開催しています。お気軽にご利用ください。

地区	岩槻	春日部	蓮田	宮代	白岡	久喜	菖蒲
営農相談会 9:30～12:00	5月15日(月) 岩槻営農経済センター	5月12日(金) 春日部営農経済センター	5月22日(月) 蓮田営農経済センター	5月11日(木) 宮代支店	5月26日(金) 白岡・宮代営農経済センター	5月19日(金) 久喜営農経済センター	5月29日(月) 菖蒲営農経済センター
住宅ローン相談会 9:00～15:00	5月28日(日) 全管内一斉開催						
	岩槻城南支店	春日部支店	黒浜支店	宮代支店	白岡大山支店	久喜江面支店	菖蒲支店
年金相談会 9:00～15:00	5月28日(日) 全管内一斉開催						
	岩槻城南支店	春日部支店	黒浜支店	宮代支店	白岡大山支店	久喜江面支店	菖蒲支店

※お申込みは、事前に各支店までご連絡をお願いします。
※都合により時間が変更になる場合があります。ご了承ください。

JA南彩（なんさい）

●JAは農業を通じて皆様の生活に深く係わっているほか、貯金（普通貯金・定期貯金など）や共済（ひと・いえ・くるまの保障）など、多彩な業務を通して、皆様の豊かな生活のお手伝いを致しております。

JA南彩のアドレス　http://www.ja-nansai.or.jp

JA南彩では社会保険労務士による年金相談会を実施しております。開催日程についてはJA南彩各支店までお問い合せください。

詳しくは、お近くのJA南彩各支店までお気軽にお問い合わせください。またはホームページをご覧ください。

★数独

出題　ニコリ

9	6				1			
			2			1		4
		4		3				
	1				9		6	
5							□	8
	2		4				3	
		□		1		2		
4		6			7			
			8				5	3

二重枠に入った数字の合計はいくつ？

ルール

① 空いているマスに、１から９までの数字のどれかを入れます。

② タテ列（９列）、ヨコ列（９列）、太線で囲まれた３×３のブロック（それぞれ９マスあるブロックが９つ）のいずれにも１から９までの数字が１つずつ入ります。

応募方法

正解者の中から抽選で10名様に図書カードをプレゼント。

【締切日】５月末日

発表は７月号です。

52　〒346-0105
久喜市菖蒲町新堀473
ＪＡ南彩
広報係

●答
●郵便番号・住所・氏名・年齢
●ＪＡ南彩と本誌へのご意見・ご希望・短歌・イラストなど

※応募ハガキに基づく個人情報は抽選、景品の発送、意見等の掲載に使用させて頂きます。あらかじめご了承下さい。
※おひとり様１枚までのご応募とさせて頂きます。

３月号の答え

答え　16

当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

⑦	9	5	3	2	1	6	4	8
3	2	4	7	6	8	1	9	5
6	8	1	5	9	4	3	7	2
8	1	9	6	3	7	5	2	4
4	3	2	1	5	9	8	6	7
5	6	7	4	8	2	9	3	1
1	7	8	9	4	3	2	5	6
2	5	3	8	7	6	4	1	⑨
9	4	6	2	1	5	7	8	3

３月号応募総数70通

【理事会だより】

平成29年３月27日、定例理事会が行われ、次の事項について審議され、全議案原案通り可決承認されました。

(1) 平成29年２月末財務状況及び３月末見込みについて
(2) 平成28年度決算方針について
(3) 平成29年度事業計画について
(4) 平成29年度役員報酬について
(5) 平成29年度内部監査計画について
(6) 目的積立金の取崩について
(7) 職制規程の一部変更について
(8) 公印及び金庫管理規程の一部変更について
(9) 平成29年度余裕金運用について
(10) 平成29年度JA住宅ローン金利軽減の考え方について
(11) 賃貸施設等事業資金特別貸出要領に基づく取扱期間及び貸出限度額について
(12) 平成29年度借入金の最高限度額について
(13) 平成29年度信用供与等の限度額について
(14) 平成29年度理事会附議を要する大口信用供与等の額について
(15) 平成29年度貸出金利率の最高限度について
(16) 年度末手当の支給について

主要事業の概要

―― 平成29年3月末現在 ――

出資金につきましては、平成28年3月末　28億7665万円です。

	平成29年3月末	平成28年3月末	前年度末増減
正組合員数	10,132人	10,295人	△ 163人
准組合員数	18,620人	18,050人	570人
組合員数合計	28,752人	28,345人	407人

	平成29年3月末	平成28年3月末	前年度同月対比
貯金高	2,687億2,925万円	2,715億6,380万円	98.9%
貸出金※1	533億8,960万円	563億8,840万円	94.6%
共済保有高	6,813億2,990万円	6,775億9,105万円	100.5%
販売高	33億3,232万円	32億8,436万円	101.4%
購買品Ⅰ供給高	30億　0万円	34億　560万円※2	88.0%
購買品Ⅱ供給高（各直売所・食堂）	14億7,816万円	14億7,331万円	100.3%

※1　貸付留保金を控除しています。
※2　平成28年３月末に閉鎖した旧菖蒲給油所の実績が含まれています。

年金のお受取りは JA南彩がいいですよ！

お取扱期間 平成29年 4/3(月)～平成30年 3/30(金)

特典がいっぱい!!

年金定期

スーパー定期 1年もの 店頭表示金利の15倍

特典❶

- ●ご利用いただける方　当JAで年金をお受け取りのお客様。新たに当JAに年金受け取り口座をご指定いただいたお客様。（年金受け取り口座のある店舗でのみのお取り扱いとなります）
- ●お預り限度額　お一人様500万円までお預け入れいただけます。
- ●貯金の種類　スーパー定期１年もの〈単利型〉自動継続扱い　特別金利は、当初の契約期間のみとし、期間終了後は、自動継続時点での店頭表示金利にてお預り致します。
- ●その他　本商品は、原則満期日までは解約できません。中途解約の場合は、所定の解約利率が適用となります。

※利息には20.315％（国税15.315％・地方税５％）の源泉分離課税が適用されます。
※お取扱期間中であっても経済情勢の変動によりお取扱内容を変更または終了する場合がございます。

年金積金

定期積金 店頭表示金利の10倍

- ●ご利用いただける方　当JAで年金をお受け取りのお客様。新たに当JAに年金受け取り口座をご指定いただいたお客様。（年金受け取り口座のある店舗でのみのお取り扱いとなります）
- ●積立期間　２年以上５年以内
- ●掛込単位　「毎月掛込型」定額式　一回の掛込金額10,000円以上１円単位　「２か月に一度掛込型」定額式　一回の掛込金額20,000円以上１円単位
- ●掛込方法　「毎月掛込型」をご選択の場合は、毎月一度、年金受給指定口座（年金受給指定予定口座）からの自動振替とさせていただきます。「２か月に一度掛込型」をご選択の場合は、２か月に一度、年金受給指定口座（年金受給指定予定口座）からの自動振替とさせていただきます。掛込月は偶数月に限定しませんが、初回掛込月が奇数月の場合は、次回以降の掛込月も奇数月となります。
- ●その他　本商品は、原則満期日までは解約できません。中途解約の場合は、所定の解約利率が適用となります。

※給付補填金には20.315％（国税15.315％・地方税５％）の源泉分離課税が適用されます。
※お取扱期間中であっても経済情勢の変動によりお取扱内容を変更または終了する場合がございます。

特典❷ グラウンドゴルフ大会

特典❸ 年金受給者の集い

特典❹ 年金受給者ご優待旅行

JA南彩では社会保険労務士による年金相談会を実施しております。開催日程についてはJA南彩各支店までお問い合せください。

詳しくは、JA南彩本店金融部0480-87-1133、事業推進部0480-87-1141までお気軽にご連絡ください。

お知らせ

番号案内サービス（104）へお問い合わせの際は、必ずJA南彩の葬儀とおたずねください。
（24時間・365日対応）
事前相談も行っています。お問い合わせください。
0120－145－731

JA南彩葬祭岩槻城南支店 ☎048－797－4909	JA南彩葬祭白岡大山支店 ☎0480－91－0490
JA南彩葬祭春日部支店 ☎048－733－9099	JA南彩葬祭久喜江面支店 ☎0480－25－2929
JA南彩葬祭蓮田支店 ☎048－768－4445	JA南彩葬祭菖蒲支店 ☎0480－86－0400
JA南彩葬祭宮代支店 ☎0480－32－4966	JA南彩催事センター ☎0120－145－731

JAなんさい No. 252
平成29年５月１日発行
発行責任者／南彩農業協同組合
代表理事組合長　森田　忠
編　集／企画管理部総合企画課　〒346-0105
埼玉県久喜市菖蒲町新堀473
TEL 0480（85）7331　FAX 0480（85）7333
VEGETABLE OIL INK
R100 古紙配合率100％再生紙を使用しています